



コンパクトマルチ電気鍋

品番：K-HP3

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部の名称	7
ご使用の前に	8
使い方	9
お手入れのしかた	14
故障かなと思ったら	15
製品仕様	16
保証書	16



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■ 電源プラグ・電源コード・温度調節プラグについて



ぬれた手で、電源プラグや温度調節プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。

火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因となります。

温度調節プラグ付電源コードを水や油につけたり、水をかけたりしてぬらさない。

感電や本製品が破損する原因となります。

分解・改造はしない。

火災・感電の原因となります。



感熱棒をなめない。

乳幼児が誤ってなめないようにする。

感電・けがの原因となります。



交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグや感熱棒にホコリが付着している場合は拭き取る。

ホコリが付着したまま電源プラグや感熱棒を差し込むと、ショート・火災の原因となります。

電源プラグや温度調節プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグや温度調節プラグを持って引き抜く。

感電やショートの原因となります。



警告

⚠
注意

❌ 使用後、電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけたりしない。
電源コードの損傷により、感電や火災の原因となります。

専用の温度調節プラグ付電源コード以外は使わない。また、本製品用温度調節プラグ付の電源コードを別の製品に使わない。
火災・破損の原因となります。

❌ 温度調節プラグを落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
正しく温度調節されないなど、故障の原因となります。

❗ 温度調節プラグの感熱棒や差込口は常に清潔で乾燥した状態を保ってください。
異物がついたまま使用すると異常発熱したり、正しく温度調節されなくなり、故障の原因となります。

お手入れ時や使用していないとき、保管時は、電源プラグをコンセントからはずす。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

■ 本体の取り扱いについて

⚠
警告

❌ 分解・改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。

本体や温度調節プラグにピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用したりしない。
感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水に浸したり、差込口や本体底部に水をかけたりしてぬらさない。
本体底部にヒーターが組み込まれていますので、ショート・感電の原因となります。

❌ 風呂場・脱衣所・温室等の湿気が多い場所で使用および保管をしない。
故障や火災・感電の原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。

異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。
火災・感電の原因となります。

調理以外の目的に使用しない。
火災の原因となります。

⚠
注意

❌ 本製品は一般家庭用のため業務用として使用しない。
火災・故障の原因となります。

❌ 破損や変形があるときは絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



使用中や使用後しばらくは、高温部に触れない。
やけどの原因となります。

ガラス蓋を他の製品に使用しない。
ガラスが割れる原因となります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
故障・破損・けが・感電の原因となります。

鍋を直火にかけない。
本製品は鍋とヒーターが一体になっているため、破損・発火の原因となります。



使用後は調理物や水気を残したままで放置しない。
ふっ素樹脂加工の劣化・はがれの原因となります。

温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しない。
故障・変形の原因となります。



持ち運びやお手入れ、保管をするときは、本体が冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

使用後は必ず毎回お手入れをする。
調理くずや調理物から出る油が残ったまま調理すると発煙・発火の原因となります。



油を飛び散らせたり、油をこぼさない。
やけどの原因となります。

温度調節プラグや差込口がぬれた状態で使用しない。
ぬれた場合は必ず完全に乾かしてから使用してください。感電・ショートの原因となります。

鍋の内側にある上限ライン(1.2L)を超える量の水を入れない。
蒸気や水が飛び散ったり、水がこぼれたり、やけど・火災の原因となります。



調理物が発煙・発火したときは、すぐに温調ダイヤルを OFF にし、電源プラグを抜く。
火災の原因となります。
炎が消えるまでガラス蓋を開けないでください。空気が入り炎が大きくなります。また、水をかけないでください。ガラス蓋のガラスが割れます。



揚げものをする場合は、以下の点を守って使用する。

- ・食材以外のものを入れない。
- ・鍋に水分、水滴がついた状態で油を入れない。
- ・調理中、顔を近づけない。
- ・調理中、ガラス蓋を使わない。
(ガラス蓋の裏面につく水滴が落ち、油が飛び散り危険です)
- ・適温にならないうちに食材を入れない。(油温が上がってくると、油が飛び散り危険です)
- ・鍋の内側にある上限ライン(700ml)を超える量の油を入れない。
- ・オリーブオイルなど発火温度の低い油を使用しない。

温度調節プラグは本体の差込口の奥まで確実に差し込む。
差し込みがゆるいときは使用しない。

接触不良になり、鍋が温まらなかったり、発熱・発火や故障の原因となります。



使用中は本体から離れない。
調理物が発火して、火災の原因となります。

使用中は本体を移動させない。
故障・やけど・けがの原因となります。

ガラス蓋のグリップ・本体の取っ手がぐらついた状態で使い続けない。
やけど・破損の原因となります。
ぐらいついたときは、裏面のネジを締め付けてください。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。
食材や油の飛び散りにより周囲を汚損する原因となります。

ビン・缶詰などを直接加熱しない。
破裂してけがややけどの原因となります。

多量のアルコールを含む食材の調理をしない。
火災・けが・故障の原因となります。

必要以上の加熱や空焚きをしない。
ふっ素樹脂加工の劣化・故障・火災の原因となります。

使用中にガラス蓋の周囲や本体に手をかざしたり、触れたりしない。
蒸気でやけどの原因となります。



ガラス蓋を急激に冷却したり、衝撃を与えたり、傷をつけない。

ガラスが破損してけがの原因となります。

金属製のへらや箸、ナイフなどを使用しない。
鍋を傷つける原因となります。

電源コードを束ねたまま、本体に巻きつけたままでは使用しない。
熱を持ち、コードの破損、発火の原因となります。

本体底部をふさがない。
異常発熱し、故障の原因となります。



ガラス蓋を使用する際には、蓋と本体の間から蒸気や油の飛び散り、水滴垂れに注意する。
やけどの原因となります。

お手入れ時や使用していないとき、保管時は温度調節プラグを本体から抜く。
故障の原因となります。

ふきこぼれないように注意する。ふきこぼれたときはすぐに温調ダイヤルを OFF にして電源プラグを抜き、高温部が冷めてからしっかり拭き取る。
感電・ショート・火災・発火の原因となります。

安全上のご注意 (続き)

■ 置き場所について



本体の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。
火災の原因となります。

不安定な場所やビニール製のテーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に置いて使用しない。
跡形がつく恐れや火災の原因となります。



壁や家具から右図の距離をあけて設置する。
火災や熱による家具の変形・変色の原因となります。

水のかからない場所に設置する。
熱くなったガラス蓋のガラスが割れることがあります。

設置例



- 安定した台の上などに置いてください。
- 前方および側面の片方は解放するように設置してください。
- 上図はあくまで目安であり、熱に弱いものなどはより離れた場所に置かれることをおすすめします。

使用上のご注意

- はじめて使用するときには、においや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用により出なくなりますので、そのまま使用してください。においや煙が気になる場合は、換気扇や窓を開けるなどして換気を行ってください。
- 使用中、きしみ音が発生することがありますが、ヒーターの熱膨張によるもので異常ではありません。
- 鍋には多少色むらがありますが、ご使用の品質には差し支えありません。
- 長時間使用していると、調理物の油によって鍋が変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシ、塩素系漂白剤などを使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因となります。

各部の名称

品名	強化ガラス製器具
強化の種類	全面物理強化
取り扱い上の注意	●本製品は耐熱ガラスではありません。加熱や急冷などの急激な温度変化および衝撃を与えないでください。 ●傷が付くような取り扱い（磨き粉等の使用）は避けてください。 ●破損すると細かく破片が飛散する特性がありますのでご注意ください。

ガラス蓋

グリップ

※揚げもの調理中は、ガラス蓋を使わないでください。

蒸しプレート
(ステンレス製)

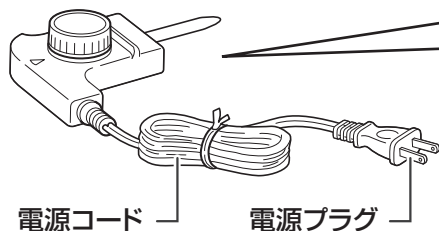
本体

鍋

取っ手

差込口

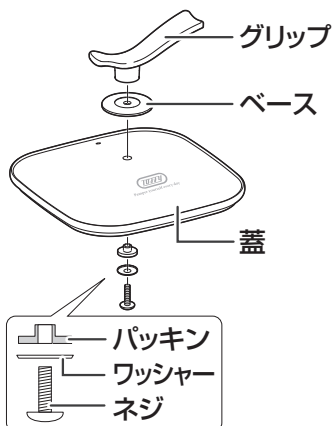
ヒーター
(底部)



電源コード

電源プラグ

ガラス蓋グリップの取り付け



グリップのがたつき、緩みのない状態で締め付け、それ以上締め付けないでください。強く締め付けすぎると破損してけがの原因となります。

温度調節プラグ

感熱棒

温度を感じます。

温調ダイヤル
(温度目盛付き)

右に回すと温度が高く設定されます。料理に応じて温度を調節してください。

OFF：電源オフ

WARM：保温

LOW：弱火

MED：中火

HIGH：強火

火力は無段階で調節できます。

通電ランプ

温度調節中は点灯し、設定した温度になると消灯します。使用中は温度調節のため、ついたり消えたりします。

ご使用の前に

使用前の準備

1 鍋の内側・ガラス蓋を水洗いして、乾燥させる。

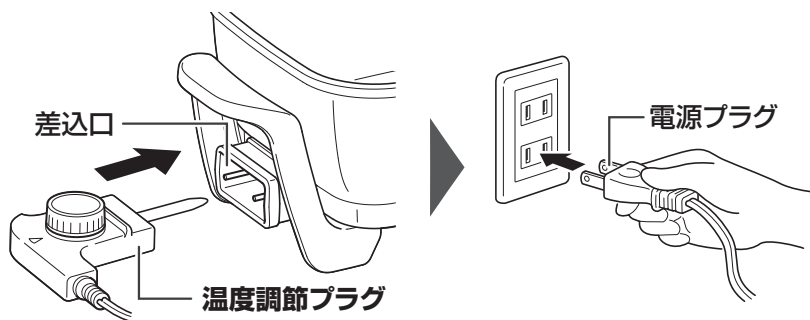
はじめて使用するときや長期間使用しなかったときは、十分に洗ってください。
※本体を水に浸したり、差込口や本体底部に水をかけたりしてぬらさない。

2 本体を水平で安定した、熱に強い場所に設置する。

近くに可燃物がない場所に設置してください。

3 温度調節プラグを本体に差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

- 温調ダイヤルを必ず「OFF」にしてください。
- 温度調節プラグを本体の差込口の奥まで、確実に差し込んでください。



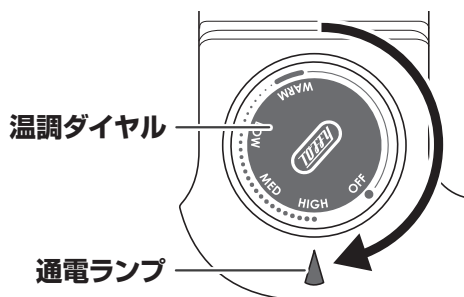
⚠ 注意

- 差し込みが不十分な場合は、接触不良になり、鍋が温まらなかったり、発熱・発火や故障の原因となります。
- 温度調節プラグの感熱棒や差込口の汚れは、必ず拭き取ってください。異物がついたまま使用すると異常発熱したり、温度調節がうまくできなくなり、故障の原因となります。
- 温度調節プラグの差込口がぬれた状態で使用しないでください。ぬれた場合は必ず完全に乾かしてから使用してください。感電・ショートの原因となります。

使い方

1 料理に応じて温調ダイヤルを右に回し、鍋が温まったら調理を始める。

- 通電ランプが点灯していることを確認してください。
- はじめて使用するときには、においや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用により出なくなりますので、そのまま使用してください。
においや煙が気になる場合は、換気扇や窓を開けるなどして換気を行ってください。



お願い 温度調節プラグの目盛は「OFF」と「HIGH」で止まります。それ以上は無理に回さないでください。

目安と料理例 ※ガラス蓋をしていないときの目安です。

● 煮る・炊く、揚げる

目盛	WARM	MED
料理例	保温 (約 60℃～90℃)	鍋 天ぷら リゾット カレー

● 焼く、炒める、蒸す

目盛	LOW	MED	HIGH
料理例	ホットケーキ フレンチトースト 目玉焼き	ハンバーグ 蒸しケーキ 焼きそば	野菜炒め ステーキ 焼きめし

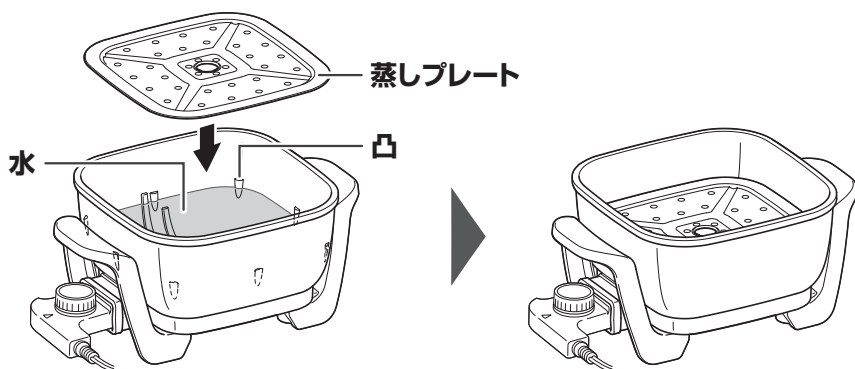
調理物の仕上がりは、調理物の大きさや室温などにより異なります。お好みの仕上がりになるように温調ダイヤルを調節してください。

使い方 (続き)

煮る・炊く、焼く、蒸す

料理の内容や必要に応じてガラス蓋や蒸しプレートを使用する。

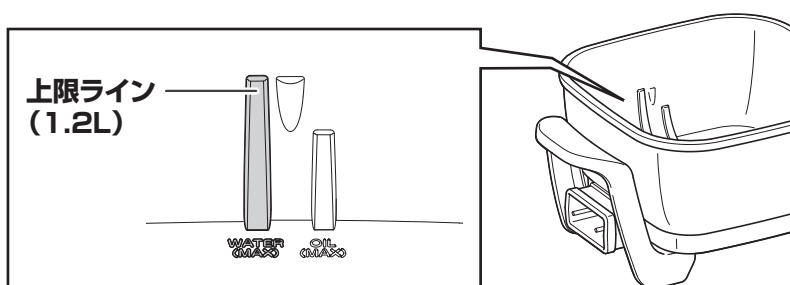
- ガラス蓋を使うときは、必ずグリップを持ってください。ガラスが高温になり、やけどをする原因となります。
- ガラス蓋をすると温度上昇が早くなるので、できあがりが早くなります。ふきこぼれにはご注意ください。
- 蒸しプレートを使うときは、鍋の内側にある凸に確実にのせたことを確認し、食材を蒸しプレートの上にのせてください。



⚠ 警告

鍋の内側にある上限ライン（1.2L）を超える量の水や液体を入れないでください。

蒸気や水が飛び散ったり、水がこぼれ、やけど・火災の原因となります。



⚠ 注意

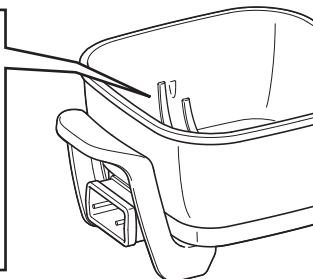
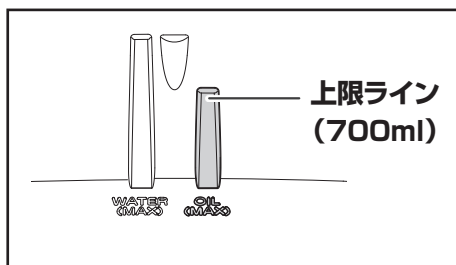
- 脂を含んだ食材を焼くときは、油が飛ぶことがあります。
- ガラス蓋をすると、ふきこぼれやすくなりますので注意してください。
- 使用中や使用直後は鍋や差込口、感熱棒が非常に高温になっています。高温部に触れないでください。
- 蓋と本体の間から蒸気や水滴が出るため、使用中にガラス蓋の周囲や本体に手をかざしたり、触れたりしないでください。
- 蒸し料理をするときは、空焚きにならないように、必要に応じてお湯（約60℃）を追加してください。

揚げる（揚げものの料理の場合）

⚠ 警告

揚げものをする場合は、以下の点を守って使用してください。

- ・ 食材以外のものを入れない。
- ・ 鍋に水分、水滴がついた状態で油を入れない。
- ・ 調理中、顔を近づけない。
- ・ 調理中、ガラス蓋を使わない。
（ガラス蓋の裏面につく水滴が落ち、油が飛び散り危険です）
- ・ 適温にならないうちに食材を入れない。
（食材が入っている状態で油温が上がってくると、油が飛び散り危険です）
- ・ 鍋の内側にある上限ライン（700ml）を超える量の油を入れない。
- ・ オリーブオイルなど発火温度の低い油を使用しない。



使い方 (続き)

油の飛び散りを少なくするために

【食材の下ごしらえ（水気・水分をよく拭き取る）】

- ・いか・えび・ピーマン・ししとう等は、包丁で切り込みを入れ、中に溜まった水分・空気を抜いておきます。
- ・魚介類など水分の多いもの、洗った野菜などはふきんで水分をよく拭き取ります。
- ・冷凍食品についた氷はしっかり取り除きます。

【天ぷら衣、ドーナツなどの生地】

- 天ぷら衣やドーナツなどの生地を揚げるときに、正常にふくらまずに中の空気や水蒸気が急激に加熱膨張して、油が飛び散ることがあります。以下のようなことが原因になりますので、十分にご注意のうえ、衣や生地を作ってください。
- ・天ぷら衣が硬すぎる場合。目安：小麦粉 100g に対し、水の量が 80ml 以下の場合。
- ・ドーナツなどの生地 베이킹パウダーや砂糖が入っていない場合。

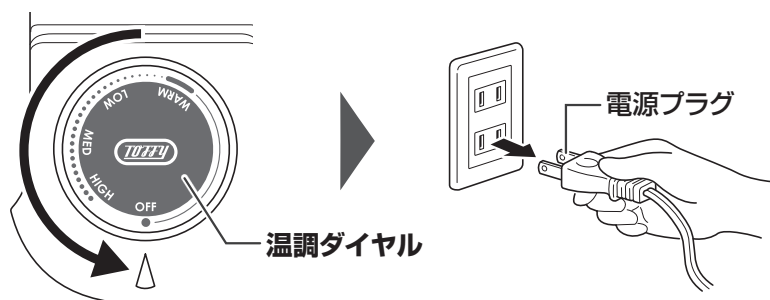
【その他の注意】

- 以下のようなことをすると、油に水が入り大変危険です。
- ・鍋の内側に水分・水滴がついた状態で油を入れる。
- ・水分を拭き取っていない箸や調理道具を使う。
- ・調理中、本体にガラス蓋をする。（ガラス蓋の裏面についた水滴が油の中に落ちます）
- 揚げすぎに注意してください。（特にいかやゆで玉子は揚げすぎると、破裂することがあります）
- 油が少なくなった場合は十分に注意して少しずつ足してください。
- 油が適温まで上がっていない状態で食材を入れないでください。（食材が入っている状態で油温が上がってくると、油が飛び散り危険です）

上手に揚げるためのポイント

- ・一度にたくさんの食材を入れすぎないでください。
- ・調理中、箸などでつつきすぎないようにしてください。コロッケなど衣に穴があくと、中身が流れ出てしまいます。
- ・揚げカスはこまめに取ってください。
- ・揚げたものは、網つきバットなどにかさならないように並べ、油をきってください。

② 使用後は温調ダイヤルを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜く。



③ 本体が十分冷めたことを確認して、温度調節プラグを差込口から抜く。

※必ず温度調節プラグを持って、抜いてください。



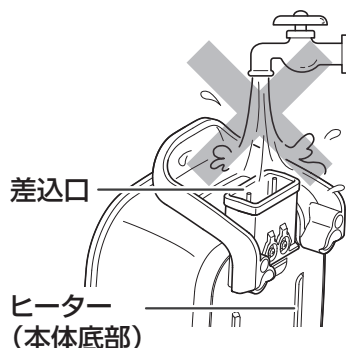
お手入れのしかた

本体

ふきん（食器用洗剤を溶かした水にひたした後、しぼったもの）で汚れを拭き取り、さらに乾いたふきんで水分を拭き取ります。

水洗いする場合は、差込口やヒーター（本体底部）をぬらさないように、食器用洗剤を含ませたスポンジなどで洗います。ぬれた場合は、必ず完全に乾かしてから使用してください。

調理の汚れなどをそのままにして再度加熱すると、その汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。



ガラス蓋

食器用洗剤を含ませたスポンジなどで洗います。

こびりついた汚れは、ぬるま湯に少しつけてから洗ってください。

温度調節プラグ

乾いたやわらかい布で拭きます。ぬらさないでください。ぬれた場合は、必ず完全に乾かしてから使用してください。

ふっ素樹脂加工を長持ちさせるために

鍋にはふっ素樹脂加工をほどこしてあります。

- ・樹脂製か木製のへらを使ってください。金属製のへら・スプーンなどを使うと傷が付く原因となります。
- ・ナイフやフォークなど鋭利なものでこすらないでください。
- ・調理物の残り（煮汁）や汚れを残したまま放置しないでください。ふっ素樹脂のはがれの原因となります。

⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、温度調節プラグを差込口から抜いてください。
ショート・感電・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。
やけどの原因となります。
- 本体を水に浸したり、差込口や本体底部に水をかけたりしてぬらさないでください。
ショート・感電・火災の原因となります。

お願い

- 研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシ、塩素系漂白剤などを使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 食器洗浄機や乾燥機などは使わないでください。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。

故障かなと思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
鍋の温度が上がらない。 通電ランプがつかない。	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	温度調節プラグが差込口からはずれている。	温度調節プラグを差込口の奥まで、確実に差し込んでください。
	温調ダイヤルが「OFF」の位置にある。	温調ダイヤルを回し、電源を入れてください。
使用中にきしみ音が発生する。	ヒーターの熱膨張によるものです。	そのままご使用ください。
通電ランプがいたり消えたりする。	温度調節機能が働いているためです。	そのままご使用ください。

長期間ご使用の電気鍋は定期的な点検をお願いします

- ・電源コードが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷などがある。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・そのほか異常や故障がある



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy コンパクトマルチ電気鍋
品番	K-HP3
本体寸法	約 285(W) × 220(H) × 200(D)mm ※ガラス蓋使用時
重量	約 1,720g ※ガラス蓋使用時
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	1,000W
電源コード長	約 1.2m
温度調節	保温～約 230℃
満水容量	2.8 リットル
主な材質	鍋：アルミニウム合金（内面：ふっ素樹脂塗膜加工、外面：焼付け塗装）ガラス蓋：ガラス
生産国	中国
付属品	ガラス蓋、蒸しプレート、温度調節プラグ、ユーザーズガイド（保証書含む）

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は（株）ラドンナ、（株）キングジムの登録商標です。